

平成24年度の主な事業

分類	事業名	金額 (単位:万円)	事業内容
しごと	緊急雇用創出事業	8億7,322	雇用対策として、失業した人などに就労の機会を提供
	地場企業振興事業	7億45	融資および利子補給による中小企業者の円滑な事業資金の調達支援、「はなまき産業大博覧会」の開催など
	中山間地域農業支援事業	5億409	中山間地域における耕作放棄地の発生防止などのため、協定締結集落に対する直接支払交付金の交付などを実施
	森林環境保全事業	7,026	松くい虫の被害拡大を防止するため、計画的な伐倒駆除を行うとともに、薬剤樹幹注入への補助などを実施
暮らし	地域支え合い体制づくり事業	314	日常の見守り訪問や災害時の安否確認など、地域の支え合いの体制を構築するため、既存の災害時要援護者台帳に地図情報を追加
	救急医療確保事業	3,830	夜間・休日などの救急医療体制の充実のため、休日等歯科診療所の運営、二次救急告示病院への運営費補助などを実施
	公共交通確保対策事業	8,824	市街地循環バスや予約乗合タクシーを運行し、快適で便利な公共交通サービスを提供
人づくり	児童保育事業	16億6,148	働きながら子育てしている家庭を支援するため、障がい児保育、一時預かり、延長保育など、多様な保育サービスを提供
	賢治のまちづくり推進事業	3,721	宮沢賢治に関する市民講座や各種企画展、イベントなどを開催し、本市の強みである賢治を生かしたまちづくりを推進
	スポーツ施設環境整備事業	1億4,226	花巻球場スコアボード・グラウンド改修、大迫体育館クライミング場整備、海洋センター合宿施設改修など
地域	地域コミュニティ推進事業	2億180	市内27地区のコミュニティ会議への地域づくり交付金の交付、「地域元氣フェスティバル」の開催
	振興センター等整備事業	2億6,340	花北振興センターの建設、矢沢振興センターの改修、成島振興センターの駐車場整備など

の年度と位置付け、年間を通じて切れ目のない誘客・交流事業などの積極的な実施に努めました。また、自主財源の確保のほか、市債の発行を抑制するなど、市町合併により一時的に膨らんでいた予算の

見直しを継続し、健全財政を維持してきました。

今後とも、事業の優先度・緊急度を見極め、効率的な運用に努めることで、さらなる財政の健全化を進めていきます。

歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである市税は7071万円(0・7^{パーセント})増加。依存財源の代表的なものである地方交付税は2億3263万円(1・4^{パーセント})減少。歳入全体では、41億5259万円(8・3^{パーセント})減少しました。歳出を性質別で前年度と比較す

平成24年度は、東日本大震災を契機とした防災・減災にかかる財政需要の増加などに対応しつつ、再び躍動へと歩み出す再スタート

平成24年度に一般会計に入った
お金(歳入)は459億4524万
円。この中から使ったお金(歳出)
は438億532万円で、差し引
き額は21億3992万円になりま
した。

6^千億^円減少、その他の経費も物件費や繰出金などの減少により7862万円(0.4^千億^円)減少したため、歳出全体では、42億68448万円(8.9^千億^円)減少しました。

※文中の用語の解説は、下段に記載

一般
会計

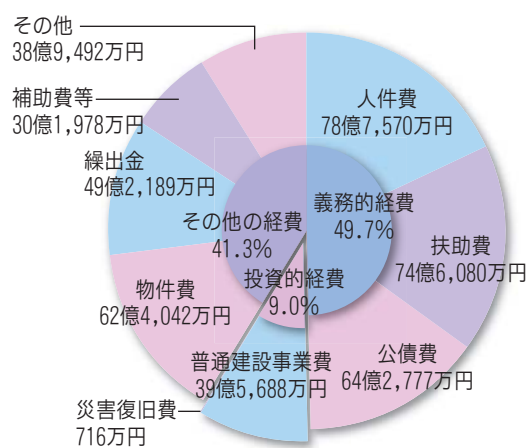
平成24年度の決算が9月定例議会で認定されました。

皆さんの大切な税金を基に運営されている市政。昨年度は、どれくらいの収入があり、どのような目的に使われたのか。決算の概要と財政状況をお知らせします。



平成24年度
決算・財政状況

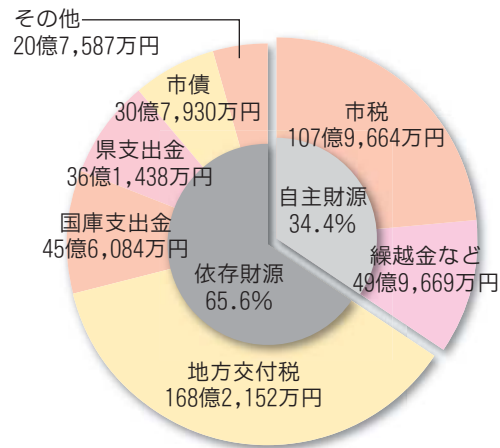
歳出 438億 532万円



用語解説（歳出関係）

▶義務的経費／人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶投資的経費／道路や学校など、将来に残るものに対する経費▶扶助費／社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費／過去に借りたお金を返すための経費▶物件費／施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰出金／一般会計から特別会計へ支出する経費▶補助費等／事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費

歳入 459億4,524万円



用語解説（歳入関係）

▶自主財源・依存財源／市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源が「依存財源」▶地方交付税／市の財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金／事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債／事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金

【歳出決算額内訳】（※性質別歳出）

項 目		24年度 (単位:万円)	構成比	増減率
義務的 経費	人件費	78億7,570	18.0%	△2.8%
	扶助費	74億6,080	17.0%	2.8%
	公債費	64億2,777	14.7%	0.8%
	元金	56億3,542	12.9%	2.4%
	利子	7億9,235	1.8%	△9.1%
	小 計	217億6,427	49.7%	0.2%
投資的 経費	普通建設事業費	39億5,688	9.0%	△46.9%
	災害復旧費	716	0.0%	△99.0%
	小 計	39億6,404	9.0%	△51.6%
その他 の経費	物件費	62億4,042	14.3%	△3.6%
	繰出金	49億2,189	11.2%	△6.2%
	補助費等	30億1,978	6.9%	△5.0%
	積立金	15億3,670	3.5%	21.9%
	投資及び出資貸付金	12億1,647	2.8%	17.6%
	維持補修費	11億4,175	2.6%	18.4%
	小 計	180億7,701	41.3%	△0.4%
合 計		438億 532	100.0%	△8.9%

※性質別歳出

歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は、農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は、人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。

【歳入決算額内訳】

項 目		24年度 (単位:万円)	構成比	増減率	
自主財源	市税	107億9,664	23.5%	0.7%	
	繰越金など	繰越金	20億2,404	4.4%	△4.3%
		諸収入	13億 507	2.8%	△4.4%
		使用料及び手数料	8億1,511	1.8%	3.4%
		繰入金	1億1,073	0.2%	△83.7%
		分担金及び負担金	6億2,056	1.4%	1.3%
		寄附金	903	0.0%	△85.0%
		財産収入	1億1,215	0.3%	88.6%
小 計		157億9,333	34.4%	△3.7%	
依存財源	地方交付税	168億2,152	36.6%	△1.4%	
	国庫支出金	45億6,084	9.9%	△23.3%	
	県支出金	36億1,438	7.9%	△2.0%	
	市債	30億7,930	6.7%	△36.1%	
	その他	地方消費税交付金	9億1,260	2.0%	△0.1%
		地方譲与税	8億8,192	1.9%	△5.9%
		自動車取得税交付金	1億8,391	0.4%	28.1%
		地方特例交付金	3,517	0.1%	△72.2%
		利子割交付金	1,946	0.1%	△28.8%
		交通安全対策特別交付金	1,728	0.0%	△9.3%
		ゴルフ場利用税交付金	1,452	0.0%	△2.6%
		配当割交付金	846	0.0%	4.3%
株式等譲渡所得割交付金	255	0.0%	59.7%		
小 計		301億5,191	65.6%	△10.5%	
合 計		459億4,524	100.0%	△8.3%	

【財政健全化判断比率】

区 分	花巻市	早期健全化基準	財政再生基準	(参考)県内5市平均
実質赤字比率	－ ㊦	11.83 ㊦	20 ㊦	
連結実質赤字比率	－ ㊦	16.83 ㊦	30 ㊦	
実質公債費比率	14.2 ㊦	25 ㊦	35 ㊦	15.1 ㊦
将来負担比率	85.7 ㊦	350 ㊦		120.0 ㊦

【資金不足比率】

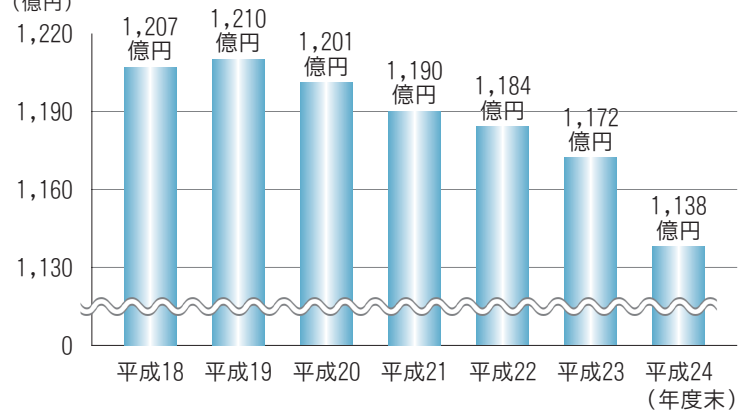
会計名	花巻市	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	－ ㊦	20 ㊦
下水道事業	－ ㊦	20 ㊦
農業集落排水等污水处理事業	－ ㊦	20 ㊦
上水道事業	－ ㊦	20 ㊦

注1…表中、各基準は国が示した数値です
注2…赤字額、資金不足がない場合は「－ ㊦」で表しています
注3…県内5市平均は、国道4号沿線の盛岡市、北上市、奥州市、一関市、花巻市の平均です

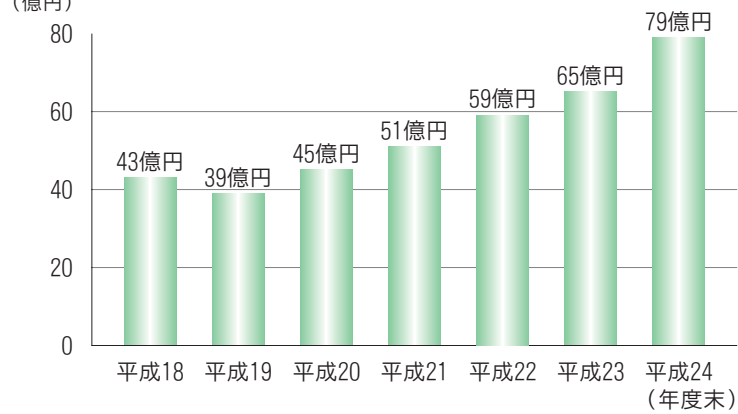
用語解説（健全化判断比率など）

▶実質赤字比率／普通会計（一般会計など）の赤字比率▶連結実質赤字比率／市の全ての会計（普通会計・特別会計・企業会計）を含めた赤字比率▶実質公債費比率／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費による財政負担を見るための比率▶将来負担比率／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債（借入金残高など）を見るための比率▶資金不足比率／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

■地方債(借金)現在高の推移



■積立金(貯金)現在高の推移



財政状況が良好かどうかを示す指標に財政健全化判断比率(4分類)と資金不足比率があります。国が示した、この指標の判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期

全項目で健全化基準をクリア

財政状況

健全化団体(要注意状態)」「財政再生団体(破たん状態)」のいずれの状態にあるのか、また、各会計の経営状態はどうかを判断することができるとのことです。

この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。

本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると

借金は減少、貯金は増加

言えますが、引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化の推進に取り組んでいきます。

平成24年度決算書は、同財政課や各市立図書館に備え付けているほか、市ホームページからご覧になれます。

市の職員が予算や決算などの説明に伺う「ふれあい出前講座」もあります。

決算などについて、詳しくは

【特別会計決算の総括表】

(単位:万円)

会計名	歳入	歳出	差引(残)額
国民健康保険	103億 309	98億6,066	4億4,243
後期高齢者医療	17億3,230	17億2,838	392
介護保険	88億7,679	87億2,872	1億4,807
老人保健施設事業	3億4,225	3億3,188	1,037
公設地方卸売市場事業	6,034	5,855	179
下水道事業	39億4,754	38億7,976	6,778
農業集落排水等污水处理事業	13億4,377	13億 80	4,297
合 計	266億 608	258億8,875	7億1,733

市の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」があります。特別会計は、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

七つの特別会計の決算

特別会計

- ◆国民健康保険
加入者が納める国保税や国・県からの交付金などを主な財源として、医療給付や各種保険事業を実施。平成24年度の被保険者は2万5441人で、平成23年度と比較して658人(2.5%)減少しました。
- ◆後期高齢者医療
後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種の申請や届け出の受け付け、保険料の徴収などを行いました。事務は、運営主体である岩手県後期高齢者医療広域連合と分担しています。
- ◆介護保険
介護保険料や国・県・市の負担金などを主な財源として、介護サービスを提供。平成24年度の要介護などの認定者5757人のうち、4741人(82.4%)が介護サービスを利用しました。
- ◆老人保健施設事業
介護給付費収入などを主な財源として、老人保健施設「華の苑」を運営しました。
- ◆公設地方卸売市場事業
施設使用料や売上高に応じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。
- ◆下水道事業
下水道使用料や国の補助金を主

- な財源として、下水道施設の整備・維持管理などを行いました。
- ◆農業集落排水等污水处理事業
農業集落排水施設使用料や国・県の補助金を主な財源として、污水处理施設の整備・維持管理などを行いました。
- ◆収益的収支
1年間の営業活動に係る収入と支出。主な収入は水道使用料。主な支出は施設の維持管理費や借入金の利息の支払いなどです。
- ◆資本的収支
将来の営業活動に備えて行う設備投資に係る収入と支出。主な収入は企業債(施設整備のための借入金)。主な支出は施設の整備更新費用などです。
- ◆供給単価と給水原価
水の供給単価(1立方メートル当たりの料金収入)は212円26銭、給水原価(1立方メートル当たりの費用)は236円27銭でした。

企業会計

上水道事業会計

【上水道事業会計収支の状況】 (単位:万円)

項 目	24年度	23年度
収益的収支(税抜き)	収入	20億5,295
	(うち給水収益)	(19億4,417)
	支出	21億6,669
資本的収支(税込み)	純利益	△1億1,374
	収入	9億1,600
	支出	18億5,529
不足分	9億3,929	8億4,679

※資本的収支の不足分は、過年度分の留保資金などから補てん